



平成27年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2015/10/16 現在

【証券分析とポートフォリオ・マネジメント】

第1問（15点）

問1 A 問2 B 問3 D 問4 D 問5 C 問6 B 問7 D 問8 C
問9 B 問10 D 問11 D 問12 A 問13 A 問14 C 問15 A

第2問（30点）

I

問1 B 問2 D 問3 A 問4 B 問5 E 問6 D 問7 B 問8 A
問9 A

II

問1 B 問2 A 問3 E 問4 C 問5 B 問6 B

第3問（30点）

I

問1 C 問2 C 問3 D 問4 C 問5 D

II

問1 C 問2 A 問3 B 問4 A 問5 D 問6 C

III

問1 D 問2 B 問3 B 問4 C

第4問（35点）

I

問1 A 問2 A 問3 B 問4 B・D 問5 E 問6 C 問7 D

II

問1 B 問2 E 問3 B 問4 E 問5 C 問6 A

III

問1 B 問2 D 問3 A 問4 B 問5 C

（注）第4問 I 問4

選択肢Dは明らかに「正しくない」。他方、利付債のマコーレー・デュレーションは残存年数以下になるので、この選択肢Bも「正しくない」。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問(30点)

I

問1 D 問2 D 問3 B 問4 A 問5 E 問6 A 問7 B 問8 D
問9 D 問10 B

II

問1 A 問2 D 問3 C 問4 A 問5 C

第6問(40点)

I

問1 A 問2 B 問3 E 問4 C 問5 A 問6 D

II

問1 B 問2 C 問3 C 問4 D 問5 C

III

問1 D 問2 E 問3 C 問4 C

IV

問1 D 問2 C 問3 B 問4 B 問5 A

この解答速報の著作権は、TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は、TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

この解答速報の著作権は、TAC（株）のものであり、無断転載・転用を禁じます。



2015 証券アナリスト 1 次試験（秋）

「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」

過去 4 回の問題数・配点は以下の通り。

平成 26 年（春）～平成 27 年（秋）

問 題	分 野	平成 26 年 （春）	平成 26 年 （秋）	平成 27 年 （春）	平成 27 年 （秋）
第 1 問	日本の証券市場	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)	15 問 (15 点)
第 2 問	企業のファンダメンタル分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	16 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 3 問	株式分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 4 問	債券分析	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)	18 問 (35 点)
第 5 問	デリバティブ分析	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)	15 問 (30 点)
第 6 問	ポートフォリオ・マネジメント	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)	20 問 (40 点)
合 計		98 問 (180 点)	98 問 (180 点)	99 問 (180 点)	98 問 (180 点)

出題形式が問題数、配点とも完全に定着した。各大問の内容・難易度にも大きな変化はなく、あらゆる分野から一通り万遍なく出題されている。協会通信テキストの内容に大幅な変更がないのだから、これは当たり前の話かもしれない。1 次レベルの場合、よい意味で完全にパターン化された問題が大半なので、数少ない目新しい問題や複雑な問題で多少てこずっても、過去問等を通じて慣れ切った問題を確実にモノにすれば合格ラインには到達する。正誤問題・計算問題とも、過去に繰り返し出題されている「問題のパターン」にいち早く慣れることが、やはり重要だろう。

今回の特徴は、第 5 問：デリバティブ分析で損益計算や損益図を使った問題が姿を消し、リスクニュートラル・プライシングの切り口で出題された（Ⅱ）、第 6 問：ポートフォリオ・マネジメントでシナリオ（生起確率）に基づいた基本統計量の計算が問われた（Ⅲ）、といったところだろう。とくに基本統計量は基本中の基本なのだが、最近の本試験にはほとんど登場していなかったもので、むしろ「目新しい」という印象かもしれない。

ところで正誤問題の選択肢は、協会通信テキストから引用・抜粋する際、前後の文脈や論旨はあまり斟酌せずに単語やフレーズをピンポイントで拾って選択肢が作成されているのか、意味が不明瞭なものが少なくないように思う。もっとも、たいていの問題で明らかに「正しい」選択肢、明らかに「正しくない」選択肢が 1 つだけ用意されているので、他の選択肢の内容がわからなくても解答できる場合が多いが。

以上